

<b>PTA活動紹介</b>		高P連受付番号
PTA(学校)名	愛知県立港特別支援学校	部門No. 3
活動テーマ	進路委員会ニュース「きずな」の発行	
キーワード	卒業後の進路選択 感染症拡大状況での取組 保護者・学校の連携	
開催日	取材:令和2年10月上旬 発行:令和2年10月30日(金)	
場所	名身連第ワークス、生活介護とも、パパママハウス、なごや福祉用具プラザ	
時間	取材時間:約1時間(10:00~11:00 13:30~14:30)	
参加者	各取材先:PTA進路委員会メンバー3名ずつ 計12名 原稿作成:各施設1名	
趣 旨	例年PTA進路委員会で全校保護者を対象に実施している施設見学会が新型コロナウイルス感染症拡大のため中止になり、進路委員会としての取組の見直しが必要となった。団体での見学が不可能になったため、進路委員会メンバーが少人数で手分けして施設を見学、取材した内容を、例年発行している進路委員会ニュースとして全保護者に伝えることになった。 例年行っている活動が実施困難となった場合に、ただ止めるだけでなく何かができるか知恵を出し合い実行していった。	
活動ポイント	進路委員会として、卒業後の生活について役に立つ情報を発信する。 PTAが学校での進路指導と連携をし、施設への協力・理解を得る。	
主体委員会名・講師名等	本校PTA進路委員会	
【準備】	<p>(1) PTA学年代表で各委員会(事業・広報・進路・研修)に分かれる。</p> <p>(2) 進路委員で年間の活動予定を決める。 * 新型コロナウイルス感染症拡大のため、例年行っている施設見学会が実施困難となる。 施設見学会に代わるものとして、進路委員メンバーが代表で施設を取材し、記事として進路委員会ニュースで全保護者に伝えることになった。</p> <p>(3) 取材先施設を選定する。 * 本校進路指導部の情報を参考にし、見学先を決める。</p> <p>(4) PTAメンバーより、見学日・時間を調整する。最初のアポイントは進路指導部より行う。</p> <p>(5) 見学依頼状の送付</p>	
【見学・取材】	<p>PTA進路委員会メンバーが4か所に3人ずつ手分けして施設を取材</p> <p>① 10月5日(月)名身連第ワークス(就労継続支援B型 生活介護) * 一般就労を目指し作業するグループから創作などの日中活動を行うグループまで多様な活動がある。</p> <p>② 10月6日(火)なごや福祉用具プラザ(福祉用具等に関する総合的相談支援機関) * 介護服、自助食器をはじめ、毎日の生活に必要なものを紹介・展示している。</p> <p>③ 10月12日(月)パパママハウス(生活介護) * 放課後等デイサービスを運営している会社が、重症心身障害者のために開設した生活介護施設。</p> <p>④ 10月13日(火)とも(生活介護) * 看護師が常駐し、医療的ケアを必要とする方も利用できる。 見学先へ礼状の送付</p>	
【発行】	<p>(1) 4か所の取材原稿を集約し、写真を加えて一つの紙面にまとめる。</p> <p>(2) 校正しPTA進路委員会ニュース「きずな」完成。</p> <p>(3) 印刷し、10月30日小学部から高等部までの全児童生徒保護者へ配布。</p>	
【まとめ】	例年の施設見学会は、全保護者に参加を募り20名前後で見学に行っているのだが、コロナ禍において何かできるこ	

とはないか模索し、代表で取材して伝える形とした。ただ中止にするのではなく、やってみようとする前向きな姿勢が進路委員のメンバーに見られたことが良かった。  
我が子の将来を考えると、実際に現場を見るに越したことはないが、今回のようにいろいろなジャンルの施設の様子を知ること大切なことである。しかし、一度にいくつもの施設を見学することは難しく、この進路委員会ニュース「きずな」が少しでも参考になれば良いと思う。来年度は感染状況も治まることを期待し、多くの保護者に現場を見てもらってそこに関わる方々の温かさを感じてほしいと願っている。

【進路委員会ニュース「きずな」32号】

